

指しゃぶり

指しゃぶりは、お母さんのお腹にいるときからしている本能的な行動で、赤ちゃんにとって、自分の指の形を確かめ感触を楽しむ大切な行動です。3歳の頃までには、他の遊びに関心が移ることで減少し、5歳頃にはほとんどなくなります。夜寝る前だけの場合は、本人の儀式のようなもので心配ありません。

<対処法>

4歳頃になっても吸いタバコができるほどの指しゃぶりをしている場合は、どうして指しゃぶりをするのか考えてみましょう。何かに夢中になって取り組んでいるときは少ないといわれているので、何か集中できることや、体を使った遊びを誘ってみましょう。強く叱っても効果はなく、注意を引くためにしている場合もあります。減ってきたら褒めてあげるのもいいですね。不安からしている場合もあるといわれているので、やさしく話しかけ、スキンシップを楽しみましょう。



問合せ・発行

富士市 地域保健課 TEL64-8993
こども未来課 TEL55-2896
(子育て総合相談センター)